

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2014.12.20 第33号

●市の補助金で植樹 ~天神谷津・中沢城址~

春の鮮やかな芽吹き、秋の味わい深い紅葉、さまざまな生き物たちのにぎわい。その様な雑木林を目指して、今年も落葉広葉樹を植えました。昨年はナラ・杉を伐採しましたが、今回はシラカシ・ダモ・ヒサカキ・マダケなど、林内を暗くしている樹木を伐り倒した後、ソロ・クヌギ・コナラ等を植え付けました。樹木の配置は、植物の生態に詳しい理事の星野さんが、責任を持って担当。樹木を担いだり、水の入ったバケツを下げたりしての斜面の上り下りは、かなりの重労働で、終盤には脚が震えてきましたが、数十年後の景色に思いを馳せて、何とかやり遂げました。



一裏面の記事もご覧下さい

●富里市少年少女の翼「陸の環境学習会」を支援

市教育委員会の要請により、10月18日、天神谷津で「陸の環境学習会」の開催を支援しました。応募で選ばれた市内の小学校5・6年生の代表24名と、関係者や私達スタッフを含めて約50名が天神谷津に集いました。最初、緊張気味だった児童達も、昆虫採取の時は網やカゴを手に楽しそうに動き回り、最後に焼いもを食べる頃には、打ち解けて会話がはずんでいました。今回は、来年に向けた試みですが、私達も積極的に関わり、出来るだけ応えたいと願っています。行事の目的は、「ふるさと富里を愛する子供達を育て、地域社会と支え合う環境づくり」、「環境平和への関心を高め、積極的に関わろうとする態度を養い、リーダーとしての資質を養成すること」だそうです。



里やまの生態系などについて説明をする当会のスタッフ



調べたり聞いたりしたことメモする児童

●好評の出前講座 向台幼稚園で再び



▲スライド「なまえあてクイズ このこはだれのこ」に挑戦する園児たち。質問に一斉に手を挙げる園児に、山ちゃん先生(理事の山崎さん)も圧倒されっぱなしでした。



▲紙芝居「さわがにのかこちゃん」大冒險のお話

7月の出前講座が好評だったことから、10月16日、スタッフ8人が再び訪れることになりました。保護者8人が同席する中、前回と趣向を変えて、紙芝居やカブトムシの幼虫探しなどを取り入れてみたところ、見事大受けでした。

最初は触れなかつた園児達も、いつの間にかカブトムシの幼虫探しに夢中!。

●ホタルの里 いのちのつながり

「生態系ピラミッド」を通して「いのちのつながり」を考える自然観察会を、10月4日、天神谷津で開催しました。参加者、スタッフを含む総勢50名が集い、賑わいました。

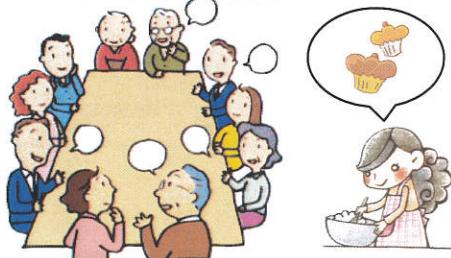


▲生態系ピラミッドを真剣に相談する仲の良い兄弟



- 【この日の食事メニュー】
・炭火焼きサンマ(大根おろし添え)
・山形風芋煮(味噌仕立て)
・ワラで焼いた焼いも
・持ち寄り地元野菜(漬物・トマトなど)

NPO富里のホタル総会



●第8回通常総会のお知らせ

下記のとおり開催致しますので、是非ともご出席下さい。

■日時…平成27年2月7日(土)午後1時30分より

■会場…中沢区集会場(富里市中沢、向台幼稚園となり)

■議事…事業報告、収支決算報告、事業計画、収支予算計画、役員改選等

*総会後のイベントとして、手作りのお菓子を食べながら、スライドショー「天神谷津の虫たち Part 2」などを予定しています。



マンリョウ(万両)

天神谷津の斜面林のやや暗い林床で、鮮やかな赤い実を、葉の陰にひっそりとつけています。鳥によって種が運ばれるようで、気を付けて見ると、思いのほかあちこちに自生していますが、強い日光・霜が直接当たるような所では生きていけません。

「万両」という沢山のお金で連想する名前から、正月の縁起木として親しまれています。江戸時代から園芸植物として栽培されていて、実が白いもの・黄色いもの・葉の色や形が異なるものなど、多くの園芸品種があります。ちなみに、「万両」に似た別の植物で、これより実の数が少なくなるにつれて「千両」「百両」「十両」「一両」と呼ばれるものがあります。



11/27撮影

会員紹介

西 義樹さん、西 雅子さん、愛犬ジョルディ



船橋市在住の西と申します。今日は印西で、知人の雑木林の下草刈りを、夫婦でお手伝いに来ています。私たち夫婦は二人とも福岡県の出身で、子供のころは筑豊炭田を後背地とした飯塚市で育ちました。飯塚市は今年年初から、伊藤傳右衛門・柳原白蓮でまたまたブームになっているようで、まさにNHKテレビ様々というところです。昭和31年から33年まで、天下の巨人を相手に3年連続日本一に輝いた西鉄ライオンズの栄光も炭鉱景気と連動していました。私たちが小学校高学年のころの飯塚も石炭一色で、景気はピークにありました。そのぶん市内の河川は汚染が進み、蛍狩りは遠い過去のものとなっていましたと記憶しています。草野理事長とのご縁で、当NPOに入会しました。蛍狩り(いまは捕ってはいけませんよね)で幼年時代を思い出しています。

NPO富里のホタルは、谷津田などでホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

【連絡先】NPO法人 NPO富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161
事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp

会員募集

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

現在の会員数: 0179

5年生 稲刈り・おだ掛け



3年生自然観察会と昔あそび



▲季節外れでザリガニの戦果ゼロ



3年生15人が自然観察会で天神谷津を訪れました。その後、校庭にもどり昔遊びを体験。谷津でも、校庭でも、子供達は楽しそうに動き回っていました。(11月5日)

「竹の音比べ」
棒でたたくと
ドレミの音が
谷津にひびき
わたります。



古い農機具体験

第一小の校庭で、足踏み式脱穀機と唐箕の体験学習を行いました。市教育委員会生涯学習課の林田さんが、農機具の取り扱いや文化財の大切さについて解説。一週間ほど天日干した稻を、子供達一人ひとりに体験してもらいました。(9月18日)



収穫したお米を
使ったハート型
のおにぎりへ

外は寒風が吹く12月17日、5年生24人が、地域の人へ感謝したいと考えた手作りの「お米パーティー」で、私達を温かく迎えてくれました。宝さがし、肩たたきプレゼント付の「わなげ」等、楽しい時が流れました。



▲私達も手作りのXmasリースをプレゼント



印旛沼流域環境・体験フェア



2回印旛沼流域環境・体験フェア
～水と人と発見のある印旛沼～



▲和太鼓、フラダンス等も…。参加者4,000人で過去最高



足踏み式脱穀機に、大人は懐かしさを語り、子供達は興味津々で、体験希望者が続々と…

12回目の体験フェアが、佐倉ふるさと広場に向かいで行われました。私達は初参加で不安でしたが、展示ブースの横に農機具体験コーナーを設置、用意した稻束が不足するほどでした。他団体や市民との交流も深まりました。(10月25日～26日)

特集“体験学習シリーズ 富里第一小”